

令和3年第3回定例会の提出議案と審議結果

●全会一致で可決した議案

| 議案番号 | 議案名 | 議決結果 |
|---------|--|------|
| 第56号議案 | 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度ふじみ野市一般会計補正予算(第3号)) | 承認 |
| 第57号議案 | 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度ふじみ野市一般会計補正予算(第4号)) | 承認 |
| 第59号議案 | 令和3年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | 可決 |
| 第60号議案 | 令和3年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 第64号議案 | 令和2年度ふじみ野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| 第67号議案 | 令和2年度ふじみ野市下水道事業会計決算の認定について | 認定 |
| 第68号議案 | ふじみ野市個人情報保護条例等の一部を改正する条例 | 可決 |
| 第69号議案 | ふじみ野市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する等の条例 | 可決 |
| 第70号議案 | ふじみ野市下水道条例の一部を改正する条例 | 可決 |
| 第71号議案 | ふじみ野市道路線の認定について | 可決 |
| 第72号議案 | ふじみ野市道路線の認定について | 可決 |
| 第73号議案 | 公平委員会委員の選任について | 同意 |
| 第74号議案 | 令和3年度ふじみ野市一般会計補正予算(第6号) | 可決 |
| 議第11号議案 | 「北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律」(拉致被害者支援法)等の改正を求める意見書 | 可決 |
| 議第13号議案 | 性的指向・性自認に関する差別解消を目的とした法整備を求める意見書 | 可決 |

●賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対

| 議案等番号 | 議案等の件名 | 議決結果 | 青藍会 | | | 日本共産党 | | | | 公明党 | | 信政会 | | 倉に属さない | | | | | |
|---------|--------------------------------------|------|------|------|------|-------|------|-----|------|------|------|-------|------|--------|------|------|------|-------|------|
| | | | 原田雄一 | 加藤恵二 | 小林憲人 | 西和彦 | 山田敏夫 | 大薬守 | 小高時男 | 新井光男 | 床井紀範 | 足立志津子 | 伊藤初美 | 塚越洋一 | 鈴木美恵 | 川畑京子 | 島田和泉 | 伊藤美枝子 | 近藤善則 |
| 第58号議案 | 令和3年度ふじみ野市一般会計補正予算(第5号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第61号議案 | 令和3年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠席 | ○ | ○ |
| 第62号議案 | 令和2年度ふじみ野市一般会計歳入歳出決算の認定について | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠席 | ○ | ○ |
| 第63号議案 | 令和2年度ふじみ野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠席 | ○ | ○ |
| 第65号議案 | 令和2年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠席 | × | ○ |
| 第66号議案 | 令和2年度ふじみ野市水道事業会計決算の認定について | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠席 | × | ○ |
| 議第12号議案 | 「土地利用規制法」の撤回を求める意見書 | 否決 | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | 欠席 | ○ | × |

※議長は採決には加わっていません。

令和2年度 一般会計 決算討論

賛成多数で認定

反対 財源あるのにコロナ対策不十分

日本共産党 塚越洋一 議員

20億円を超える実質黒字と149億円もの基金があるのに、新自由主義の自己責任論に拘泥し、コロナ禍で苦しんでいる市民の命とくらしを守る市独自の施策展開が極めて不十分である。

基金積立て目標にこだわる硬直した財政運営は、基金の弾力的活用にも全面転換すべき。

環境センターや文化施設のDBO方式(市が資金を負担し設計・建設・管理・運営を民間に委託する)は、市民と議会に実態が分からず不透明感が強いので改善が必要である。

賛成 全庁的な対応で迅速な給付事務を評価

会派外の議員 民部佳代 議員

土地開発公社の清算や那須の土地売却などが進んだことは評価する。

コロナ対策など緊急で対応する事業であっても、二元代表制のもと緊張感を持った行政運営を心掛けてほしい。10万円の特別定額給付金は所管を超えて応援体制を取り、給付が早かった。今後も各課で連携を取ってほしい。

令和2年度は初めて人口が増えなかった。人口増を支えてきたのは就学・就労で転入する若者である。今後は若者にとって魅力ある街づくりも進めてほしい。

賛成 市民の生活と地域経済を守る

青藍会 大築守 議員

本決算は、歳入・歳出ともに増額となった。増額の要因としては、特別定額給付金をはじめとする新型コロナウイルス感染症に対応した市民の健康と生活、地域経済を守るための事業実態と理解する。

また、これまで目標を立てて積み立てた基金の活用で国の補助を待たずに行えた。基金については、予期できない状況において的確な行政サービスを行うために必要である。また、安定的な市政を運営するために必要な目標額を設定し、適切な基金管理をお願いする。

賛成 緊張感を持った事業運営を評価

公明党 島田和泉 議員

職員が新型コロナウイルス感染症の対策を実施しながらの行政運営で、高い値での款別の執行率を達成し、実質単年度収支で黒字を確保できたことは、将来的に先行き不透明な現在では、将来投資へつなげる財源を確保したものと評価する。

新型コロナウイルス感染症で不安を抱える市民の方へ、素早く各種給付金を届ける努力をされ、地方創生交付金など適切に活用し、効果的な事業を行われた点などを評価する。

賛成 税収確保に向けた取り組みが着実に推進

会派外の議員 金濱高頭 議員

本決算について財政指標に着目をすれば、財政力指数や経常収支比率及び経常一般財源等比率は前年度と比較して若干の変動はあったものの、ほぼ横ばいの状態が続いており、移動平均をみれば維持又は緩やかな改善傾向にあるものと判断をした。

歳入では、有志の方からの寄付についても目立つものがあつた。本市に対し愛着を持っての行動であると認識するので、その期待に応えるべく今後どのように使われていくのか、しっかりと着目、注視をしたい。